

令和3年8月30日

関係事業者 各位

内川地区交通安全協会
会長 小坂 栄司
金沢市立内川小中学校
校長 小竹 淳夫

児童生徒の交通安全確保について（依頼）

日頃から、交通事故防止活動に多大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年に入って県内の歩道や横断歩道が整備されている通学路でも交通事故に巻き込まれる大変痛ましい事故が多発しております。内川校下においては、交通事故による被害防止のために、子ども達に交通ルールやマナーの遵守について指導の周知を図っております。また、低学年の下校時には学校の先生方や地域のスクールサポート隊が見守るなど、子どもの動きから目を離さず慎重に活動を続けているところです。

しかしながら、雨天時大型トラックが通過する際に子ども達の傘が車体と接触したり、時には小さな子どもの身体が風圧で巻き込まれてしまいそうになるなど非常に危険な状況が見受けられます。

つきましては、次代を担うかけがえのない子ども達の未来を守るために児童生徒を通学路で見かけた際は、雨天時に限らず『徐行運転』を心がけていただくなど、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

通学時の児童生徒を見かけたら 「徐行運転」をお願いします！



【お願い】

子供たちの横を大型トラックが通過する際

- 子どもの傘と車両の接触
- 風圧による子どもの身体の巻き込み
- 水溜りの水はね

等に配慮した徐行運転をお願いします。



子ども達の安全確保のため、ご協力ください